



公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第120号 2021年9月22日 発行

第29回石川県作業療法学会を終えて

第29回石川県作業療法学会 学会長 高多 真裕美
(金沢脳神経外科病院)

初めてのオンライン&オンデマンド配信は、会員163名、学生39名の計202名にご参加いただいた。オンライン上で、ZOOM内のQ&A機能を用いて、またホームページやSNSなどを通じて、参加者、講師、司会者、運営スタッフが繋がり、それなりの一体感を実感できたのではないかと思います。

一般演題29題は、病院や施設内での実践から、他施設との連携や、養成校での卒前教育と幅広い内容であった。特別講演では、西田征治氏(県立広島大学)から認知症支援について、佐藤孝臣氏(株式会社ライフリー)からは地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割についてご講演をいただき、「自立支援」、「つながる」、「できるを発信する」、「OTから働きかける」、「伝える力」など沢山のキーワードをいただいた。当初の予定通り、ランチョンセミナーも活動紹介も行えた。また講師を囲む会では、オンライン飲み会とは思えないほど距離感が近く楽しいものとなった。開催にあたり、ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げたい。



この先も感染との付き合いは続く。エビデンスに基づく感染対策や生活習慣の構築、大切な作業、人とのつながり、有事の備えなど、どれも作業療法士の得意分野である。作業療法士として、家族、社会の一員として挑戦し続けたい。来年の県学会でまたお会いできることを楽しみにしている。

学会長奨励賞受賞者から一言

演題名「斜台部髄膜腫により嚥下障害を呈した症例～食形態に着目し調理活動を支援した取り組み～」

金沢医科大学病院 大地原 留衣

この度、学会長奨励賞を授与していただき、心から感謝を申し上げます。今回の作業療法の関わりを通して、自分自身にとって新たな取り組みを経験させて下さった症例様に何よりも深く感謝しています。

今回の受賞を更なる励みとし、今後も臨床現場において、患者様に質の高い医療を提供できるように日々精進していきたい。



演題名「失語症・右片麻痺者に対する就労継続支援に重点を置いた入院・外来リハビリでの関わり」

社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 蒲生 智子

この度は、学会長奨励賞という名誉ある賞を頂き光栄に思う。この栄誉は、決して自分だけの成果ではなく、指導し育ててくださった先輩方や同僚、ともに支援して下さった他職種の皆様のおかげであると実

感している。このような機会を与えて頂き感謝するとともに、これからも初心を忘れず、仕事に邁進していきたいと思う。



第29回石川県作業療法学会に参加して

石川県済生会金沢病院 加賀田 昂佑

今回、県学会での発表する機会を頂いた。学会での発表は初めてであり、発表準備では、経験の少なから、資料作りや考えをまとめることに苦心したが、職場の先輩や同期、後輩から様々な意見を頂き、なんとか形にすることができた。発表では、コロナ禍の影響もあり、資料は事前に録画し、質問はチャットで行うという自分にとって初めての形式での発表となったが、緊張しながらも無事発表を終えることができた。また、他の演題では、回復期以外にも、急性期や維持期、終末期など経験のない分野での発

表があった。それぞれ様々な視点で介入を行っており、患者様の心身状態や生活様式、環境等様々な要因に合わせて様々な関わり方があると改めて知ることができた。この学会を通して、作業療法士としてたくさんの気づきと知見を深めることができた。今後、作業療法士として患者様と接していく上で、この学会で得られたことを活かしていきたい。最後にコロナ禍の中にも関わらず学会を開いて下さった先生方に深く感謝申し上げる。

石川県高度・専門医療人材養成支援事業研修会 コロナ禍における訪問リハビリテーションの在り方 ～感染予防の基礎を踏まえた訪問リハビリの展開～

在宅支援部理事 加藤 孝之(町立富来病院)

8月1日に「コロナ禍における訪問リハビリテーションの在り方～感染予防の基礎を踏まえた訪問リハビリの展開～」と題して八尾はあとふる病院(大阪府)理学療法士の古賀阿沙子氏にオンラインで講演していただいた。県内新規感染者数増加中での開催とありPOS合わせて参加者48名は感染流行地域で活躍している古賀氏の講演を聞いて明日からの現場に活かしたいと感じたはずだ。

講演は新型コロナウイルスの特徴・感染症対策・濃厚接触者の定義・訪問リハ時の携行品などすぐに役立つ内容ばかりであった。実事例に対するグルー

プディスカッションもあり、もしものときの対応について活発な意見交換がされた。コロナ禍により利用者の活動量減少し、フレイル状態であると考え、生活維持に必要な外出は不要不急でないこと、精神的ケアも必要なので感染対策を行い積極的にコミュニケーションをとることも重要と講演された。

講演後には実践報告3例あり、OTは森田満美子氏からコロナ禍でも活動・参加への介入が重要と報告があった。来年1月に実践編を計画しているので多くの仲間が参加されることを期待している。

生活の維持に必要な外出は、不要不急でない

外出自粛要請 (特措法第45条第1項)

➢ 府民に対し、医療機関への通院、食料の買い出し、職場への出勤など、**生活の維持に必要な場合を除き、原則として自宅から外出しないことを要請。**

➢ 特に、密閉空間、密集場所、密接場面という3つの条件が重なる場、いわゆる「3つの密」がより濃厚に重なる夜の繁華街への外出自粛を強く要請。

【生活の維持に必要な場合(例)】

※感染防止策を講じた上で、必要最小限の人数での活動が前提

物資調達・・・生活必需品(食料品、日用品、医薬品等)の買い出し

健康維持・・・医療機関への通院、**散歩・運動**

仕事・・・職場への出勤
→ただし、在宅勤務(テレワーク)や時差出勤等の取組みを強く要請。
感染防止のための取組みと「3つの密」を避ける行動を強く要請。

その他・・・銀行、役所など

大阪府ホームページより

PT・OT・STは利用者の変化に気づける専門職である

2020年改定 日本版CHS基準(J-CHS基準)

| 項目 | 評価基準 |
|------|---|
| 体重減少 | 6か月で、2kg以上の(意図しない)体重減少 (基本チェックリスト #11) |
| 筋力低下 | 握力:男性<28kg、女性<18kg |
| 疲労感 | (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする (基本チェックリスト #25) |
| 歩行速度 | 通常歩行速度<1.0m/秒 |
| 身体活動 | ① 軽い運動・体操をしていますか? ② 定期的な運動・スポーツをしていますか? 上記の2つのいずれも「週に1回もしていない」と回答 |

【判定基準】

3項目以上に該当:フレイル、1~2項目に該当:プレフレイル、該当なし:ロバスト(健康)

(Satake S, et al. Geriatr Gerontol Int. 2020; 20(10):992-993.)

中高生による高齢者の生活向上プロジェクト

事業部担当理事 米田 貢(金沢大学)

当事業部では2021年度の新規事業として「中高生による高齢者の生活向上プロジェクトを実現するためのキャリア教育支援」を実施している。このプロジェクトは公益財団法人 日本財団(東京都港区、会長：笹川陽平、以下 日本財団)の助成金事業に採択されたもので、近年増加する高齢者の社会的フレイル(虚弱)を解決すること、中高生の「生きる力」を育成するためのキャリア教育を支援することを目的としている。

事業内容は、1) 中高生と高齢者の交流会、2) 高齢者の生活向上プロジェクト、3) 報告会。そしてこれまで当事業部が実施してきた、4) 小学生親子の作業療法体験会、5) 中高生の作業療法体験セミナー、6) 職場体験からなる。

【第1回交流会】令和3年8月8日(日)に第1回の交流会をオンライン開催した。新型コロナウイルス感染症拡大の

ため、当初計画していた対面型から、完全オンラインとし、参加者も限定せざるを得ず規模縮小となった。参加者と運営側の感想を紹介して有意義な交流会であったことの報告とする(写真)。

【今後の予定】現在、第2回の交流会、さらに高齢者のオンライン体験会の開催を計画している。コロナ禍にあり、事業内容の変更を余儀なくされているが、有意義な事業とするため、引き続き皆さんのご協力をお願いしたい。

| 今後の予定 | |
|--------------------|----------------------------|
| 10月 | 第2回 交流会 |
| 10月-11月 | 高齢者のオンライン体験会 (中高生による支援) |
| 11月-12月 (2022年) | 生活向上プロジェクト |
| 2月 | 報告会・特別講演会 |

※ 新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて変更する場合があります。
 ※ 随時、webやSNSで情報を更新していきます。皆さんフォローください。



話された内容：余暇活動、手の痛み、コロナ禍、オンライン

【高齢者の感想】

- オンラインでの交流会もいいものだ
- 遠くの人でも参加できていい
- やっぱり対面がいい
- 対面の方が心が通う感じがする
- はじめは不安だったが会話するうちに楽しくなってきた
- 楽しかったありがとう



第1回オンライン交流会
令和3年8月8日(日)

【中学生の感想】

- 高齢者のイメージは体操や公園でグランドゴルフしている
- 意外に元気だと思った
- 元気でない人もいたので、そんな人にどう支援したらいいか考えた

【スタッフの感想】

- 中学生の気づきが素晴らしい

【スタッフの感想】

- このコロナ禍でなにかと制限がある中でしたが高齢者が中高生と関わることで元気をもらっていたこと、参加してくれた中学生が一生懸命に高齢者の話を聞いていたことが印象的でした
- 中高生と高齢者とのコラボという興味深い企画、スタッフ紹介動画やクイズコーナーのおかげで、話しやすい和やかな雰囲気でした
- 若いスタッフを中心にいろいろな世代のアイデアが融合できる事業と感じた 機会があればぜひ参加して欲しい
- コロナ禍で若者と高齢者の交流の減少が更に進行していると感じた
- 今回の活動を本来の対面で行うと盛り上がると思いましたが、オンライン活動が1つ良い機会になると感じました

交流会と感想



事業部関連WEB&SNSのQRコード

2021年石川県作業療法士会リーダー研修会に参加して

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

8月21日(土)、石川県作業療法士会リーダー研修会がオンラインで開催された。今年は、「部門運営の工夫」「自己研鑽を応援する工夫」の各所属共通の課題であろう2つのテーマをもとに展開された。私は支部長をさせていただくなかで、自己研鑽を応援する立場から医療機関の現状を知りたいと思い参加した。

はじめに、今回のテーマについて4名の講師より所属施設の工夫について紹介いただき、その後のグループ討議へと続いた。部門運営の工夫については、講師からは残業や休暇、感染症対策などの管理の工夫について話があり、取り入れられそうな工夫が紹介されとても参考になった。今後も各施設の取組みを共有できる機会があるとよいのではないかと感じた。自己研鑽を応援する工夫についても、各施設での工夫や体験談を聞くことができた。その中で印象に残ったのは、仲の良い先輩からの誘いで研修会に参加するようになったとの話で、職場内での普段からの関

係づくりも大切なのだろうと感じた。「自己研鑽を応援する工夫」のグループ討議では、各自の悩みについて意見を出し合った。その中で、ある施設では自己研鑽の必要性について後輩に説明することで変化がみられたとのことで、全員に適応するわけではないが所属施設内での部署の果たす役割など丁寧に先輩が後輩に説明し、その姿を見せることも必要なのではないかと思われた。

最後に、47都道府県委員会報告および石川県作業療法士会の現状について東川会長より講義いただいた。個人的には、これから県士会独自で取り組むキャリアデザインの作成について、どのようなものが出来上がるのか期待と興味が湧いた。

例年と同様に今年度も盛りだくさんの内容で興味をもって楽しく参加することができた。今後の支部活動での「自己研鑽を応援する」取組みに活かしていきたい。

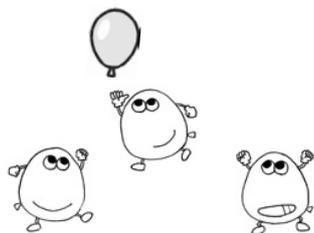
スポーツの秋！

「リハビリテーション・スポーツフェス2021」の開催について

企画部担当理事 種本 美雪
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)



東京オリンピックやパラリンピックが開催され、スポーツの素晴らしさを感じた方も多いと思われる。例年であれば風船バレーボール大会の時期だが、残念ながら今年度も風船バレーボール大会はCOVID-19感染拡大に伴い中止の運びとなった。そこで企画部では多くの方に「活動できる場」を提供できるよう、「リハビリ



テーション・スポーツフェス2021」を企画している。種目は「風船リフティング」「フライングディスク」「ピンポンカップイン」「紙コップタワー

(仮)」の全4種目で、簡単に参加できるようルール設定をしている。事前エントリーは不要で、全て個人競技とし、各競技にてタイムや飛距離、回数を競い合ってもらおう。感染対策を講じながらの実施となるため団体競技は実施しないものの、施設でも自宅でも家族でも仲間でも、是非、良い結果がでよう盛り上がり頂きたい。エントリー(競技結果の提出)は11月末を予定している。皆様とお会いすることはできないが、多くの方に参加頂き、楽しく笑顔でスポーツの秋を感じて頂ければと思う。参加条件や各競技のルール、要綱などの詳細については県士会HPや発行物にて確認頂きたい。是非、多くの方の参加をお待ちしています！

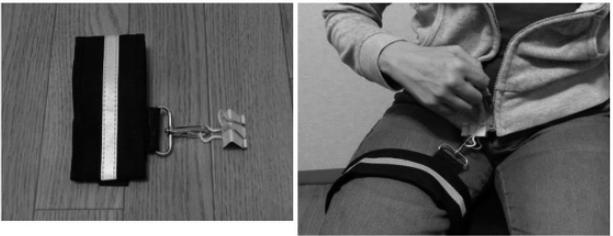
福祉機器部研修会報告および生活行為工夫情報事業への参加

福祉機器部理事 JCHO金沢病院 越田 雄

今年度より石川県士会は、日本作業療法士協会が実施している生活行為工夫情報事業へ参加する。そのキックオフイベントとして、事業説明会を兼ねた研修会を8月22日に開催し、32名の参加があった。講師に協会の生活環境支援推進室において、当事業の推進に尽力されている宮永敬市氏を迎え、研修前半において「作業療法士に必要な生活環境支援の視点」というテーマでご講演いただいた。講演を通して、対象者が自らの意思のもと行動し、自分らしい生活を続けていくためには、対象者の能力や特性、生活歴などを踏まえながら、動作・方法の工夫や用具、生活環境に対する適切な支援を行うことが重要であると、改めて学ぶことができた。また対象者の強みを見つけて、本人が出来ることや今後出来そうなこと(生活目標)を探し、その生活目標の達成に向けて生活機能だけではなく、個人因子や環境因子などの背景因子にも目を向けたトータルアプローチが行える職種は、OTの他にいない、と力強いメッセージをいただいた。研修後半は事業説明を行い、参加者には本事業の核となる、福祉用具相談支援システムへの利用登録もしていただいた。

これから福祉機器部は、事業説明会に参加できな

かった会員に向けて、本事業について説明をしていきたい。本事業は、生活行為に不自由さを感じているすべての住民が、自ら有する能力を發揮し、自分らしい生活を継続できるよう、当事者や関係者に対して生活行為工夫情報を提供するとともに、身近な地域で OT による相談が受けられる体制を作るための基盤を構築することを目的として、OTが生活行為の課題解決に向けて行った、用具や環境の調整・整備についての工夫を文章や写真、イラストなどを用いて取りまとめていく活動である。具体的な内容として、福祉用具相談支援システムを用いた、会員からの生活行為工夫情報の収集およびデータベースの作成・公開が挙げられる。まずはQRコードのリンク先で福祉用具相談支援システムに登録し(登録用IDとパスワードは同封した事業チラシに記載)石川県の登録事例やサンプルページの参考事例をご覧になっていただきたい。自助具や個別に製作した事例以外に、市販品を用いたちょっとした工夫も登録されており、事例投稿が数居の高いものではないことがご理解いただけるかと思う。今年度、石川県士会では60事例の登録を目標としている。領域や分野を問わず、積極的な事例投稿をお願いしたい。

| 更衣・ファスナー操作の工夫 (脳卒中 片麻痺) | | 上衣ファスナー操作が困難な脳卒中片麻痺患者の方に、 上衣固定ベルトを用いた事例(市販品の改良) | |
|--|--|--|--|
| <p>脳卒中片麻痺患者の方が、上衣のファスナー操作時に、「左手が全く使えないので、時間がかかってしまう」と困っていたので、コーティングクリップ・カバン用ショルダーベルト・アンクルベルトで作成した上衣固定ベルトを提案・実践した結果、片手で上衣のファスナー操作が容易になった。</p> <p>【利用者・家族の声】 ファスナーが閉め易くなった</p> | |  | |
| 心身機能・構造の特徴 | 片側の upper 手指(Br.stage 左上肢Ⅴ 左手指Ⅱ)の機能障害 | | |
| 活動・参加の制限の特徴 | 上衣のファスナーを閉める動作が、一人で行うのに時間を要していた。 | | |
| 工夫したポイント | ファスナーの下止を、クリップ固定することで、片手でのスライダ操作が容易になった。 | | |
| 利用上の留意点 (注意点、デメリット等) | ファスナーの下止固定位置が適正でないと、スライダ操作時に、クリップ固定が外れる可能性がある。 | | |
| 使用した製品 | 商品名(材料名) | コーティングクリップ、カバン用ショルダーベルト、アンクルベルト | |
| | 入手先・価格 | 100円均一店 324円 | |
| 備考 | | | |



福祉用具相談
支援システム
新規利用登録ページ

生活行為工夫情報の一例

科学的介護情報システム (Long-term care Information system For Evidence; LIFE) の 活用について

在宅支援部理事 中森 清孝((医)長久会 介護老人保健施設加賀のぞみ園)

介護保険においてエビデンスに基づいた自立支援・重度化防止等を進めるため、令和3年度から「科学的介護情報システム(Long-term care Information system For Evidence; LIFE)」の運用が開始された。日本作業療法士協会制度対策部では、科学的介護の理解と浸透を図るためLIFEに関する説明会を6月25日(土)に開催した。講師は木下翔司氏(厚生労働省 老健局 老人保健課 高齢者リハビリテーション推進官)をお招きし、現状の課題と今後の展望について講演された。オンラインでの開催もあり参加者は定員100名に対して、約400名が参加した。参加者数からも作業療法士(以下、OT)が興味あるテーマであること、また日々の現場での取り組みに活かしたい意気込みを感じた。

講演では、自立支援・重度化防止等を進めるためには、介護関連データを活用しながら取組を進めていくことが重要となり、エビデンスに基づいた介護を実践しつつ、科学的に妥当性のある指標等を現場

から収集・蓄積、分析し、分析成果を現場にフィードバックして更なるエビデンスに基づいた介護の実践に繋げていく循環を創出し、現場・アカデミア等が一体となって科学的裏付けに基づく介護を推進する仕組みを形成していくことが重要であると述べられていた(図1)。

介護保険領域に新設された加算は、LIFEに関連し、各事業所でどの取り組みを行っていくか、今後どのようにフィードバックを受け、対象者個人に事業所全体に対して質の改善を図っていくかが重要となる。そのためには、OTだけでなく栄養と口腔が一体的に取り組まなければならない、これまで以上に多職種連携が求められる(図2)。この点については、講師の木下氏がOTに活躍を求められていたため、県内介護保険領域で活躍するOTとしても積極的に貢献していく必要性を感じた。LIFEに関する情報は、以下の厚生労働省ホームページよりご覧になって頂きたい。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000198094_00037.html

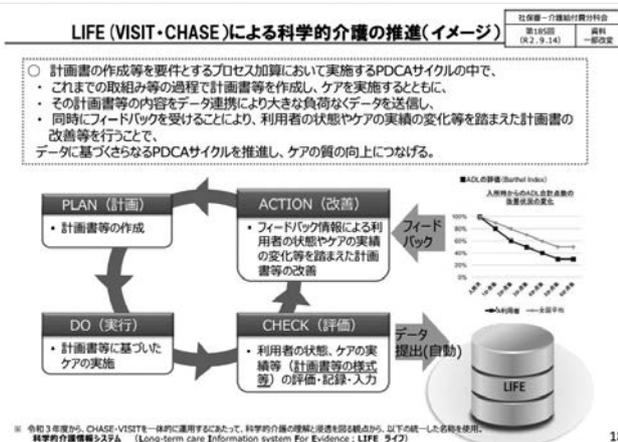


図1 LIFEによる科学的介護の推進

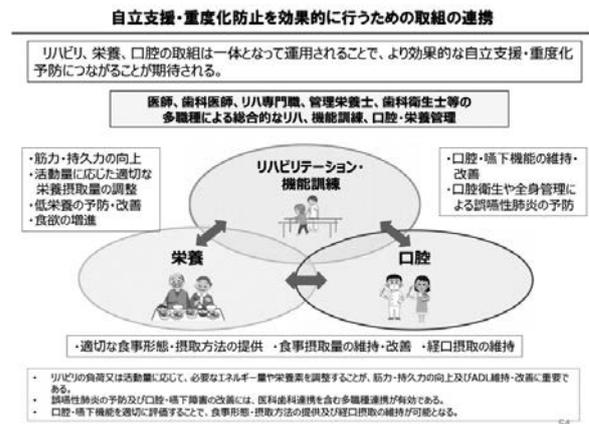


図2 リハビリ・栄養・口腔の一体的取組

◆◆◆令和3年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第8回総会 議事録◆◆◆

1. 日時：令和3年5月15日(土) 15時40分～16時20分
場所：ホテル金沢4階エメラルドルーム および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席理事：東川、寺田、麦井、桂、(以上4名会場)安本、大西、渡邊、高多、河野、米田、白山、中森、永井、種本、合歡垣(以上11名Web)
出席監事：後出、進藤(Web)
議長：堀江(金沢大学附属病院)
書記：山本(金沢脳神経外科病院)
議事録署名人：中嶋(金沢大学)、仁木(金沢大学附属病院)
3. 議事 議決権のある会員の数：842名 出席者数：576名(うち委任状414名、書面議決131名)
【審議事項】①令和2年度事業報告と収支決算について会長と安本副会長より報告があった。
承認 ②令和3年度事業計画と予算について会長と安本副会長より説明があった。承認 ③小浦選挙管理委員長欠席のため代理の麦井事務局長より、役員選挙について立候補者数が定数を満たしたため全員無投票当選との報告があった。承認

◆◆◆令和3年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時：令和3年5月15日(土) 16時20分～16時50分
場所：第8回総会と同場所
2. 出席：東川、寺田、麦井、桂、安本、米田、中森、永井、種本、合歡垣、坂下、加藤、越田、酒野、東、高橋
出席監事：後出、進藤
出席支部長：堀江、長原
書記：山本、山下
3. 議事 【審議事項】①役員を選任について本理事会の決議によって代表理事(会長)に東川哲朗氏、副会長に寺田佳世氏及び安本大樹氏を選定した。承認 ②令和3年度新入会会員37名について東川会長より報告があった。承認

◆◆◆令和3年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和3年7月7日(金) 19時～21時 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席理事：東川、寺田、安本、麦井、桂、越田、東、長原(会場)、米田、中森、種本、永井、合歡垣、酒野、高橋、柿島、村井、坂下、加藤、堀江、小川、西村(Web)
書記：山本(Web)、山下(会場)
3. 議事 【審議事項】①《地域保健福祉部 保健》地域支援事業に関わる技能向上研修会を令和4年1月ごろに開催する。開催方法について、令和3年11月頃までに新型コロナウイルスの感染状況に劇的な改善がみられた場合は参集型を検討する。承認 ②《在宅支援部 通所領域》《老年医療部》両部の合同研修会の開催企画を今年度も進めていく。今年度は研修会のほかにもいしかわ介護フェスタへの参加や勉強会も合同開催として新たに検討している。承認 ③《教育部》現職者共通研修「協業・後輩育成」について、今年度の講師は安本副会長に依頼する。承認 ④《各支部》今年度の新卒者フォロー事業について、事業を担当した各支部の理事と支部長へ会議費(300円/時)を支給する。承認 ⑤《災害対策委員会》日本作業療法士協会主催2021年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練(R3.9.25)への参加について、昨年同様に理事所属の施設に加え、今年度は対策委員の所属施設も実施対象とする。承認 ⑥《企画部》風船バレーボール大会中止に伴う代替案について、動画投稿による団体戦での競技を検討していく。動画の公開は行わない。承認 ⑦《広報部》県土会ニュース120号の割り付けについて。 ⑧《広報部》当会においてSDGsへの取り組みを行い、会員個々の当会に対するエンゲージメント(思い入れや愛着)の向上、当会の社会貢献に対する取り組みの認知度アップ、自治体/関係団体との連携強化を図っていく。承認

能登支部

恵寿総合病院 小川 正人

8月20日(金)、第2回MTDLP検討会を開催し、1事例15名の参加があった。小脳梗塞で眩暈が強い患者に、地域包括ケア病棟の特性を生かした生活場面での多職種連携や事例登録のまとめ方等、様々な意見

を共有した。昨今、部員間で呼びかけるも参加者・発表希望者の減少を危惧している。10月8日(金)に事例検討会を予定している。多くの参加をお待ちしている。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

第2回金沢西支部MTDLP事例検討会を10月27日(水) 19:00～21:00に開催する。今回、身体障害分野から2事例をいただいている。参加者で「生活行為」について考え、ファシリテーターから助言がきけるた

め、どの分野の方でも必ず学びを得られる機会となっている。所属支部に限らず、年に1度はどこかの事例検討会に参加してみたいだろうか。

金沢東支部

金沢大学附属病院 堀江 翔

次回、MTDLP事例検討会は9月15日(水)、一般の事例検討会は10月22日(金)を予定している。一般の事例検討会では、「なんでも相談会」の時間を設け、

若手の方を中心に(もちろん若手以外も歓迎)、OTの悩みについて東支部役員が丁寧に回答するので、気軽に参加してほしい。

加賀支部

やわたメディカルセンター 村田 明代

8月18日(水)に第1回MTDLP事例検討会を開催し、2事例の検討を行った。参加者は若手を中心に24名であり、疾患から環境因子など幅広いアセスメントの視点や、在宅生活再開への資源活用など多くの助言

があり、有意義な学びや振り返りの機会となった。第2回MTDLP事例検討会は10月20日(水)に予定している。

インフォメーション

研修会案内・県士会活動

日時 2021年10月8日(金) 18時30分～
場所 Web開催(Zoom使用)
第2回 能登支部症例検討会

日時 2021年10月27日(水) 19時00分～
場所 Web開催(Zoom使用)
第2回 金沢西支部MTDLP事例検討会

日時 2021年10月20日(水) 19時00分～
場所 Web開催(Zoom使用)
第2回 加賀支部MTDLP事例検討会

日時 2021年10月30日(土)・31日(日)
場所 Web開催(Zoom使用)
令和3年度石川県理学療法・作業療法臨床実習指導者講習会

日時 2021年10月22日(金)
場所 Web開催(Zoom使用)
第2回 金沢東支部症例検討会

日時 2021年11月17日(水) 19時00分～
場所 Web開催(Zoom使用)
第2回 加賀支部事例検討会

PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー



どこでも学べる

豪華講師陣

オフライン再生

キャリア決済対応

お支払いが
もっと簡単・ラクラクに

auかんたん決済 ドコモ払い ソフトバンクまとめて払い

選べる料金プラン

月々**2,181円** (税込) ~



法人様向けプランもご用意しております

法人管理機能

法人プランは、職員の視聴状況を管理する「法人管理機能」が備わっており、職員の視聴状況を正確に管理することができます。



どの職員が



どの動画を



何分視聴したか

管理者様は
すべて把握して
いただけます。

Zoom でのご相談や、資料請求など随時受付中です。
お気軽にお問い合わせください。

QRを読み込んで動画にアクセス!

YouTubeで無料視聴体験

メイクアップ × リハビリテーション
～活動と参加に焦点を当てたメイクセラピーの活用～

作業療法士
中澤 亜海 先生

視聴する

必要



メイクアップとリハビリテーションの関係やその効果などを分かりやすく解説!

脳卒中に対する臨床作業療法
～上肢機能から ADL・Activity～

作業療法士
山本 伸一 先生



脳卒中に対する作業アプローチや入力系の目指す方向などを分かりやすく解説!

リハビリテーションを
『かたち』にする会社



お問い合わせはこちらまでお願いいたします。

✉ seminar@gene-llc.jp

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-26-12 IKKO新栄ビル6階

tel.052-325-6611

リハノメ 検索



「超高齢社会」、
そして「アフター・コロナ」に向けて。
現場の悩みを解決したい方や、
学びの追及をしたい方へ。

金城大学 大学院で学んでみませんか?

- ・総合リハビリテーション学研究科
- ・総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

遠隔オンライン
学習対応

安心設定の
学納金

就業しながら学べる
昼夜開講制



2020年度
「作業療法士」
国家試験合格率 **96%** (2020年度卒業生実績)
(全国平均81.3%)

金城大学

詳しくは、
ホームページを
ご覧ください。



全国に広がる有料老人ホーム

パーキンソン病専門 PDハウス

施設 ビジョン

「我がままに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気ででもできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの思いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

働き方改革 目標

2023年に向けた

| | | |
|------|-----|------|
| 公休数 | 残業 | 有給取得 |
| 120日 | 0時間 | 100% |

PDハウス野芥 笠松 朋枝

PDハウスには、元気で優しく知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けられてもらうことが多いのですが、これからは私自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。

■ 関東エリア

- PDハウス相模大野... 2021.01
- 東京1号店... 2021.夏
- 神奈川2号店... 2021.秋

■ 関西エリア

- PDハウス岸部... 2021.06
- 大阪2号店... 2021.秋

■ 北海道エリア

- PDハウス西野... 2020.11
- 札幌2号店... 2021.春

■ 福岡エリア

- PDハウス有田... 2020.06
- PDハウス今宿... 2021.05

■ 出店計画

働き方
公開中!

介護サービス
サンウェルズ

| 0120-905-166

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人董仙会
学校法人 金城学園
株式会社 gene

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生会えんやま健康クリニック
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団千木福久会
医療法人社団洋和会
社会福祉法人寿福祉会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団 博洋会藤井病院
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団 光仁会
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社 トータルシステム
株式会社 トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社北陸支店
株式会社 ヤマシタ 金沢営業所
セントラルメディカル株式会社
株式会社 メディベック
株式会社 サンウエルズ

D会員

あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードから県士会webにアクセスして登録して下さい。
登録いただいたメールアドレスに研修会の情報などをML配信します。



会員数

会員数 871名 認定作業療法士 33名 専門作業療法士 5名 (令和3年8月現在)

編集後記

昨年度とは、比較にならないほど新型コロナウイルス感染者が全国で激増している中、東京オリンピック・パラリンピックは開催された。IOC・IPCは安全に開催できると判断したと述べている。なぜこの状況で…。公平な判断が曖昧になっていると思う。昨年度は中止となった行事も、今年度は、『Withコロナ』で感染対策を徹底した上でオンラインやハイブリッド開催となることも増え、運営関係者は、頭を悩ませることは多い。コロナの災いにより、オンラインの手法を学んだり、感染対策をさらに深く学んだりと経験値は増えた。1年後はどのような社会になっているだろうか。『Afterコロナ』となっていることを願う。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、米田貢、越田雄、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、吉田友稀乃、竹中朋也、白山武志、南朱音、村井俊太、福岡翔平、北村梨紗、仲佐東、木村知愛、宮腰真、上野玲子、川上直子、宮田真由美、青木友花、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社